

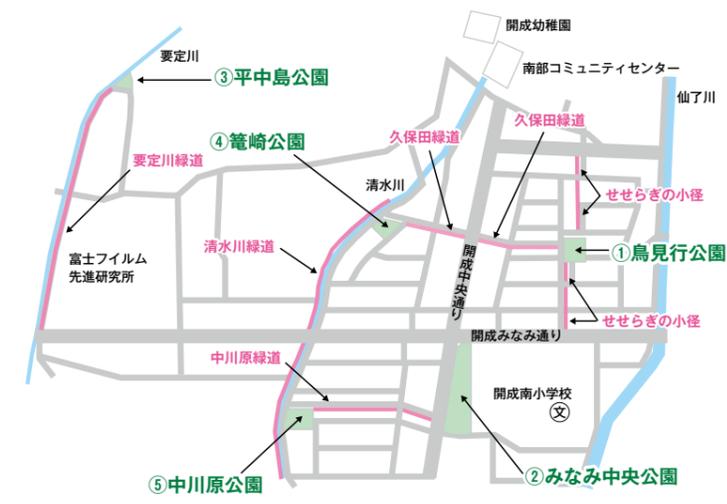


(イメージ図)

12月1日、南部地区の新しい公園と緑道が利用できるようになりました。町が進めてきた都市計画マスタープランや第五次開成町総合計画の事業が少しずつ形になり、町民の皆さんに目に見える形でお示しできるようになってきました。しかし、この変化は、「新しい」というよりも、今までこの土地で大切にされてきたものを再認識して、より町の魅力を輝かせるための「開成町らしいスタイル」を現代の生活様式に合うようにしたものと考えていただく方が適切かもしれません。

この地区は、富士・箱根の山々を背景に、水と緑をふんだんに取り入れ、ゆったりと整備された道路や公共施設などに囲まれています。今回は、新しい15つの公園を名称の由来などと共にご紹介します。

街づくり推進課 ☎84-0321



②みなみ中央公園(海拔35m)

新しく出来る開成みなみ地区の中心の公園となるため、この名称になりました。



④籠崎公園(海拔36m)

籠崎(又は籠崎)という地名は、足柄平野で唯一であり全国的にもあまり見受けられない名称です。籠田という田園地名は全国各地に散見され、砂田と同義に位置づけられています。「籠」は文字通り水を通してしることを示し「崎」は、その程度が激しいことを示しますから、「籠崎」は、土壌が砂質で水の浸透が激しいところにつけられた地名と推察されます。



遊具もあります

③平中島公園(海拔38m)

平中島の地名は、この公園のまわりの牛島地区約28,000㎡、宮台地区約24,000㎡で構成されていました。2つの平中島は、要定川の左岸沿いに連なり、富士フィルム(株)先進研究所敷地の大半までを含みます。平中島は江戸時代初期から400年間も親しまれてきた名称で、田んぼとして開発された古い土地柄であることが分かっています。



⑤中川原公園(海拔34m)

中川原という地名は、清水川がかつてこのあたりで蛇行や氾濫を繰り返して河原地となったことに由来すると推察されます。近くには今でも、湧水が見られるなど自然豊かな環境が保たれてきました。清水川は、2級河川の要定川から分岐した用水路で、牛島自治会館や開成幼稚園の東側など牛島の中心部を縦断し、中川原公園付近で宮台地区に入ったあと南足柄市の塚原などを経て、小田原市の小台で要定川に戻ります。略図は1841年、江戸幕府編纂の『新編相模国風土記稿』の絵図(江戸時代後期)からの抜粋です。同書本文の記載と読み合わせると、南足柄市班目で酒匂川から堰入れし上流部では「武永田堰」と、中流の牛島村からは「権兵衛川」と呼び、狩川に合流する下流の小台村からは「用定川」と呼び名を変えていました。川の総称は「権兵衛川」と「用定川」を併用しています。「権兵衛川」は、小田原城主大久保公の家臣だった権兵衛さんが掘ったことにちなんで呼称したと記載されています。いつなぜ権兵衛川の名が消えてしまったのかは、分かっていませんが、川名は消えても、権兵衛さんは、忘れてはならない地域の偉人です。なお、清水川の名称は、1658(万治元)年の牛島村検地帳に記載されている小字名(志ミツ川、のちに清水川)からとったものだと思います。



略図は公園内の案内板をご覧ください



各公園には、名称の由来が詳しく書かれた案内板があります。ご興味のある方はぜひ現地へ

小字で町の原風景を後世に伝える

町と南部土地区画整理組合は、大脇良夫さん(下延沢)に、公園名の由来となった小字(町や村の字名を細かく分けた部分。この上に大字がある)の説明を書いていただきました。「小字はその土地の表情や風景を表す言葉です。昔の姿を公園名という形で後世に残せることは大変うれしいことです」と大脇さん。

そして、新しく転入される方に向けて「小字からも分かるように、ここは豊かな自然にあふれる地域でした。今も水や緑の美しい素晴らしい地区ですので、心から歓迎します。公園の案内板に土地の由来を詳しく書いていますので、ぜひ現地へお越しください」とお話しくださいました。



足柄の歴史再発見クラブ 顧問 大脇良夫さん

公園名の由来を執筆する際にいつも眺めていた地図 大脇さんが調べた町内の小字が全て書き込まれています



①鳥見行公園(海拔37m)

この地名が公式の記録に初めて登場するのは、1640(寛永17)年の吉田鳥村検地帳です。約400年間も親しまれてきた古い名称です。鳥見行一帯は、沼地があちこちにある湿地帯で葦などの水草に覆われ鳥類のえさになる泥鰌などの小魚、蛙、昆虫や野草の宝庫で鳥類の絶好の棲みかであったと推察されます。鳥類、昆虫類、水草、沼そして水田と自然豊かな環境だったのでしょ。小田原藩の狩猟場になった時期もあったことと思います。こうしたことから、このような珍しい地名が冠されたものと思われます。